

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和3年度学校評価計画

達成度(評価)
 A: 十分達成できている
 B: おおむね達成できている
 C: やや不十分である
 D: 不十分である

学校名	伊万里市立大川内小学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 職員が一丸となって、一つ一つの問題や課題に向き合ってきたことで、全般的に高い評価を得ることができた。また、地域や家庭の理解や協力があつたこともこの高い評価を得るにあつた要因となった。今後さらにこのことを持続させていけるように地域や家庭と連携しながら精進していかなければならない。 いじめに関する問題を解消していくためには、職員が児童の言動を見る目を高め、児童との関わりを深めていく必要がある。日頃から組織的に取り組み、いじめの未然防止に努めるとともに、児童の様子をつぶさに観察して早期発見・早期解決につなげていけるようにしていかなければならない。 学力の向上に向けては、全国及び佐賀県学力学習状況調査並びにCRT調査の結果の分析をもとに、また校内研修を軸としてよりよい指導法のさらなる改善に努めなければならない。
2 学校教育目標	「笑顔で元気な大川内っ子」の育成 — あいさつ 返事 意思表示 —
3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> 地域の協力を受けながら教育活動を展開し、地域のよさを誇りに思い、地域の「人・もの・こと」と連携し、成長していくことに喜びを感じる児童を育成する。 常にすべての児童が、基礎的・基本的な知識及び技能を習得することを意識した学習活動を展開する。また、校内研究を軸に、様々な問題に対してしっかりと見通しをもって粘り強く取り組み、豊かな表現力を生かしながら自分の思いや考えを進んで伝える児童の育成を目指す。 家庭や地域、専門機関との連携を図りながら児童の学習面や生活面の様子をしっかりと見取っていく。

4 重点取組内容・成果指標				中間評価	5 最終評価				主な担当者	
(1)共通評価項目				進捗度(評価)	中間評価 進捗状況と見通し	達成度(評価)	最終評価 実施結果	学校関係者評価		
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組					評価		意見や提言
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上を目指す。	・学期末にマイプランについて振り返る時間を設定し、意識化を図る。						学力CD 研究主任	
	○基礎的・基本的な知識及び技能を習得するとともに、自分の思いや考えを伝えて伝えることのできる力の育成	○国及び県の学習状況調査やCRT検査において、全国や県の平均値を上回ることを目指す。	・日々の授業において、西部型授業の実践を行い、児童の確かな学力の向上を目指す。						学力CD 研究主任	
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○90%以上の児童が、交流をしているときや、交流後に書く感想で、誰かが交流を持った相手に対し、思いやりのある気持ちや相手を敬う気持ちなどを表現することができる。	・縦割り活動を行ったり、特別支援学校との交流を行ったりしながら相手思いやる気持ちや敬う気持ちを育てる。						特別支援CD 道徳推進教師	
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめの未然防止、早期発見・早期解決に努める。 ○「学校が楽しい」と答える児童が90%以上になるようにする。	・1月1回「1心のお天気」アンケートや6月、10月にとるアンケート調査で、児童の友人関係や悩み等を把握する。 ・配慮を要する児童等について、連絡会で情報交換の機会を設け、職員の共通理解を図るとともにSC、SSWと情報交換を密にし、連携を図りながら支援す						生活指導 教育相談	
●健康・体づくり	●「望ましい生活習慣の形成」	○朝食喫食率93%以上を目指す。	・食育月間中、4年生以上を対象にチェック表を活用し、保護者と連携して取り組む。 ・栄養教諭と連携して、低中学年を対象に食育の授業を実施する。 ・保健だよりや健康診断結果等を配付しながら望ましい生活習慣の形成に必要な事項を各家庭に提供し、年間を通した心身の健康づくりを呼びかける。						保健	
	○体を動かすことを好む児童の育成	○アンケートで「外で遊んだり、運動したりするのが好き」と答える児童90%以上を目指す。	・なかよしタイム(縦割り活動)や水泳クラブ、持久走月間、縄跳び等の取組を通して運動に親しませながら、体力の向上を図る。						体育	
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外勤務時間の上限を遵守する。	・金曜日を定時退勤日とし、早めの退勤を呼びかける。 ・平日は、19時をめやすとし、また、月45時間以上の超過勤務がないように呼びかける。						教頭	
	○会議や事務の効率化	○会議の超過時間0を目指す。 ○誰もが手軽に必要な文書や授業の教材等を、校務サーバーから取り出せると感じられるように整理する。	・資料の事前配付と、資料を読んでからの参加を徹底したり、会議の開始、終了時刻を厳守したりする。 ・校務分掌や教材研究等に対する時間削減のために、文書や授業の教材等を校務サーバーに保存し、有効活用する。						教頭 教務 各担任	
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				進捗度(評価)	中間評価 進捗状況と見通し	達成度(評価)	最終評価 実施結果	学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組					評価	意見や提言	
◎志を高める教育	◎地域の「人・もの・こと」とふれあい、そのよさを感じ、地域を大事にする心を育む教育活動	◎地域の「人・もの・こと」に愛着を持ち、大切にしていきたいと感じる児童を90%以上に上げる。	・田んぼの学校やサマースクール、登下校中の見守り隊の方とのふれあいを通して、そのよさに気づかせ、感謝の気持ちを育む。						教務 教頭	
○特別支援教育の充実	○特別な配慮を要する児童に対する個別の支援計画に基づいた支援	○職員会議や職員研修等で、特別な配慮を要する児童について共通理解を深めるとともに、専門家の話を通して理解を深める。	・特別な配慮を要する児童をリストアップし、丁寧な見取りを行う。 ・夏季休業中に専門家を招聘しての研修を行い、個別の支援計画について見直しを行う。						特別支援	
○危機管理の強化	○通学路の安全点検及び安全指導 ○情報モラルの指導	○交通事故0を目指す。 ○情報モラルについて、インターネット上の危険やSNSの適切な使い方を十分に理解できている児童を95%以上に上げる。	・地域の見守り隊との連携を図りながら、通学路の安全点検及び安全指導を実施する。また、集団下校時の話で、登下校のあり方について随時指導をしていく。 ・アンケートを実施し、児童のインターネット機器や環境についての実態を把握する。その結果を基に指導内容の精選を行い、学期に1回以上指導を実施す						教頭 生活指導	

5 総合評価・ 次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> ●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育
--------------------	--